

(別紙)

## 神楽公演における各種マイクについての感染防止対策

各種マイクは、素手で触り、頭髪や衣服への付着、口腔の近傍で使用し、複数の出演者やスタッフが同じ空間で共用するため、新型コロナウイルスの感染ルートとなる可能性が高いと指摘されています。

当神楽公演においても感染拡大の可能性のあるルートを出来るだけ減らし、安全を確保するため、以下の対策に留意して作業いたします。

### ■音響管理者の対応

#### 〈音響スタッフ〉

- ・マスク、ビニール手袋(必要に応じフェイスシールド)を着用し出演者対応する。
- ・作業スペースは、可能な限り通気、換気を確保し、定期的にアルコール消毒を行う。
- ・ピンマイク担当者は、セッティングチェックの時間を短くし演者との距離に注意する。

#### 〈機器操作ボタン、ツマミ、フェーダーなど〉

- ・金属製や樹脂製のボタンは、濃度 50vol%以上の消毒用アルコールで拭き上げる。

#### 〈笛マイク(ダイナミックマイク)〉

- ・マイクは、マイク消毒スプレーを噴射によって消毒する。
- ・スタンドは、消毒用アルコールで拭き上げる。

#### 〈ピンマイク〉

- ・演目終了後、トランスミッター、ケーブルは、消毒用アルコールで拭き上げる。
- ・ヘッド部は風防を交換し取り外した風防はマイク消毒スプレーを噴射し消毒する。

#### 〈ヘッドセット〉

- ・演目終了後、汗をティッシュで拭き取り、その後、本体、アーム部、ヘッドパッド、サイドパッドなどはアルコールで拭き上げた後、乾拭きをする。
- ・口から近いマイクヘッド部は、風防に消毒用アルコールを噴射によって消毒する。

■神楽団の方にご協力をお願いすること

〈ピンマイク担当者の設置〉

各神楽団でピンマイク担当者を決めてください。

〈ピンマイクの受け渡し〉

・各神楽団の担当者が必要本数を所定のピンマイク置き場まで取りに来てください。  
→出来るだけマイクの先端部分に触れない様をお願いいたします。

・ピンマイクは使用者自身で装着してください。

・担当者が配役とマイク番号を音響担当者に伝えてください。

(任意の書式で構いません、神=①、鬼女=②などを記したものをご準備ください)

〈本番中の音響卓の操作について〉

・音響スタッフの指示に従い、担当者がピンマイクの音量調節(フェーダー操作)を行ってください。※マスクの着用、使用前後の手指消毒にご協力ください

〈ピンマイクの返却について〉

・使用後は使用者自身で外し、各団の担当者に渡してください。

・担当者は使用者全員のマイクを回収し、**ただちに**所定のピンマイク置き場まで返却してください。

※担当者はマスクの着用、使用前後の手指消毒をしてください。(ビニール手袋も準備しています)

〈楽用ヘッドセットについて〉

・使用者自身で着脱をお願いいたします。

※椅子(座布団)に消毒済みのヘッドセットを置いておきます。

※終了後は消毒を行いますので、その場で外し、椅子の上などに置いてください。